

觀光 エキスパート

2026

2

今月の表紙
～秋田県～



目次

申込まだ間に合います 第 25 回 MMP グループ全国研究会～理論で考え、実践で学ぶ～	2
『日本観光特産大賞 2025』が大賞決定！	5
2025 年プロモーション大賞 受賞決定	9
2026 年度上期全国一斉資格試験 2026 年 6 月 7 日(日) 開催予定	13
認定講師登録制度のご案内	15
観光士・観光特産士・販路コーディネータ資格取得を目指している方は必見	18
観光プランナーを団体で受験を希望される 学校・企業・団体様へ	19
モーライブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集！	21
MMP 総研 研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～	22
紙の本と学ぶ映像 MMP コミュニケーション あなたの本を一冊創りませんか	23
JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中！	24
MMP グループ・ホームページ & 資格研修スケジュール	25

今号の表紙 ~秋田県~

写真上：きりたんぽ鍋

秋田発祥の郷土食きりたんぽは、狩人が携行した保存食が起源とされる米文化の結晶といえる。比内地鶏のだしと旬の野菜が織りなす鍋は、雪国の暮らしと客人をもてなす心を今に伝える味である。この一椀を求めて秋田を訪れ、温かな囲炉裏端の風景とともに心に残る冬の物語を持ち帰る、秋田観光の醍醐味である。

左下：なまはげ

秋田・男鹿半島のなまはげは、古くは小正月行事「ナモミ剥ぎ」として記録された来訪神の風習である。大晦日に家々を巡り「怠け者はいねが」と戒めつつ、災厄を祓い豊作豊漁を祈る迫力の行事は、今やユネスコ無形文化遺産として世界が注目する冬の観光資源である。

右下：上桧木内の紙風船上げ

秋田県仙北市・上桧木内の紙風船上げは、100 年以上続く小正月行事である。江戸時代、中山の銅山指導に訪れた平賀源内が熱気球の原理を伝えたことが起源とされ、武者絵や美人画をまとった巨大な紙風船が、願いを託され真冬の夜空へ舞い上がる幻想的な祭りである。

毎年 2 月 10 日の夜に開催される冬の風物詩である。



申込まだ間に合います 第25回 MMP グループ全国研究会～理論で考え、実践で学ぶ～ 1月17日(土)



(第25回)2026年MMPグループ全国研究会

MMP グループ全国研究会では、異業種の仲間と意見交換しながら、普段の仕事では得られない新しい視点やアイデアに出会えます。

「研修」と聞くと堅い印象かもしれません、ここでは気軽な雰囲気の中で交流を楽しみながら自然にスキルアップできるのが魅力です。

【過去にご参加いただいた方の声】

- 「マネジメントマーケティングについて説明をいただき、課題解決のイメージを持つことができました。(販路コーディネータ)」
- 「これまで以上にもっと学び、地方創生の一助として貢献したい気持ちが改めて湧いてきました。(商品開発コーディネーター)」
- 「MMP グループの仕組み体制を全く理解できていない中での参加でしたが、とても勉強になり、異業種の方と交流ができる有意義でした。(観光士)」

MMP グループ全国研究会の後は、近隣で新春交流会を開催します。

全国の仲間と交流し、MMP®の体験を共有することで、自己のスキルアップとネットワーク強化につながります。

【詳細はこちら】 https://www.hanro.jp/event/jmc_zenkoku.html

◆第一部 MMP グループ全国研究会

◎2025年度大賞ご紹介

- ◇コーディネーター大賞
- ◇日本観光特産大賞 2025
- ◇日本プロモーション大賞 2025

◎MMP リーダー研修「MMP スキルアップコミュニケーション」

◇グループワーク

150分で変わる、あなたの“聴き方・伝え方”。即戦力を磨く実践研修。
変化が常態化する現代において、“対話”で組織を動かすリーダーが求められています。
「MMP リーダー研修」では、戦略設計力・組織マネジメント力・合意形成力を三方向対話を通じて段階的に習得し、即現場で活かせる“実践力”を磨きます。
講義とグループワークの150分で、聞く力・伝える力・引き出す力を飛躍的に向上させ、チームや組織を率いるリーダーとしての感覚を身につけます。

◇グループワーク／この研修で得られるもの

- 関係者と円滑にコミュニケーションを取り、迅速に意思決定を推進できる
- 組織を動かすマネジメント力
- アクティブラッシングとフィードバック応答法の実践習得
- MMP 戦略会議をリードする力とリーダーとしての実践感覚
- MMP ワンシート企画書の活用・実践

◆第二部 新春交流会

MMP グループ全国大会の後は、新春交流会を開催します。
ここで MMP®の体験を全国の会員たちと共有し、自己のスキルアップ、ネットワークを強化することができます。

◆昨年の受賞者と MMP グループワーク、交流会の様子



日時	2026年1月17日（土） 13:00 第一部受付開始 13:30～14:00 挨拶・表彰紹介・MMP 説明 14:00～16:30 MMP グループワーク 17:00～ 第二部 新春交流会
会場	◆第一部：都立産業貿易センターハンロ（2階会議室 A） ◆第二部：近隣会場（浅草）
参加費	会員：第一部 2,000 円／第二部 6,000 円／両部 8,000 円 一般：第一部 4,000 円／第二部 6,000 円／両部 10,000 円
受付締切	2026年1月14日（水）
お申込み	https://www.hanro.jp/cgi-bin/ah/form.cgi
ご注意	Gmail をご利用の方は「support@hanro.jp」からの受信許可設定をお願いします

『日本観光特産大賞 2025』が大賞決定！

一般社団法人日本観光文化協会は、2025年12月12日(金)『日本観光特産大賞 2025』を発表、観光特産大賞の「グランプリ」を「北海道:猿払ほたて貝」に決定しました。また、金賞「優秀賞」を「福井県:敦賀おぼろ昆布」に、金賞「ニューウェーブ賞」を「大分県:地獄蒸し®プリン」に決定しました。

「日本観光特産大賞」とは、毎年12月に一般社団法人日本観光文化協会が、食と観光、地元グルメ、お土産などでその年話題になった観光特産品を表彰してゆく制度です。受賞品は2026年1月17日(土)に開催されるMMPグループの全国研究会で紹介します。



※ 観光でその地域を訪れたいと望む人々にとって、その地域が選択に値する魅力あるものが存在していることが重要となるため、一般社団法人日本観光文化協会では「観光特産」を「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」であると定義しています。

観光特産 = 観光資源 × 地域特産

◆(一社)日本観光文化協会 小塩会長からのコメント

一般社団法人日本観光文化協会では「観光資源×地域特産=観光特産」という定義を大切にしています。当協会は日本各地の観光特産の中から観光特産大賞を選ぶ活動を通して、全国の観光特産に注目し、全国の地方・観光地の産業を全力で応援したいと考えています。2025年度も観光特産大賞の審査を行い、下記のように決定しました。

グランプリに輝いた「北海道:猿払ほたて貝」については、審査員の一人、笠谷圭児より「日本有数のホタテ産地としての知名度に加え、直売・体験・交流イベントなど「滞在型の観光消費」を生み出している点を高く評価できます。水産資源のブランド化と、村全体の観光コンテンツ(景観・グルメ・体験)を結び付けており、「観光特産大賞」の主旨に最も合致しました。との評をいただいております。

【詳細はこちら】 <https://jtmm.jp/award/>

■日本観光特産大賞「グランプリ」 北海道:猿払ほたて貝**◆受賞団体 猿払村**

◆商品特性 日本有数の水揚げの日本最北の村『猿払(さるふつ)』で取れるほたては、厳しい天然の環境で稚貝を撒き、4年をかけて育てられる。ほたての種苗を1年かけて海中で育て、3~5cmの大きさの”稚貝”になつたら、いったん海に放す。漁場の見回りを大切にしていて、順調に成長しているかどうか年間約500回も実際に採り上げて確認している。

◆推薦のことば

- ・5年の歳月を掛けて、生育方法をスケジュール管理して、どれもが均一、最高級なブランド品なように育成されている。自然を相手にしながらの生産技術もすばらしい。そこで獲れるホタテは高級品として寿司屋は当然、ホテルや料亭等でも重宝されて高い値段で取引される。コロナ禍であってもコンスタントな商取引がされていて、非常に質のよりブランド品・観光特産を産み出している。今回の観光特産大賞ということで言えば、<ホタテ貝・北海道>ではなく、是非『猿払村産ホタテ貝』という地域限定の特産品として賞を授与したい。歴史、生産過程、地元との関係性、イベント開催等すべてが観光特産大賞にふさわしいと考える。(楨利絵子)

■金賞「優秀賞」 福井県:敦賀おぼろ昆布**◆受賞団体 福井県昆布商工業協同組合**

◆商品特性 敦賀のおぼろ昆布製造技術は、古くから日本海の海運の要衝であった敦賀において、交易品の昆布を用いた細工昆布の製造加工の技術として伝承されてきた。敦賀では、現在も手作業による伝統的な製法が維持されている。専用の刃物を用いて様々な厚みに削り分ける技術や、刃先の調整技術などが継承されており、

地域的特色のある昆布の製造技術として注目される。

◆推薦のことば

- ・日本海の要衝・敦賀で受け継がれる高度な削りの技は、2024～2025年にかけて文化財登録が進むなど「今、評価すべき価値」が特に高い。専用の包丁で一枚ずつ手削りする職人技が、地域の食文化と直結しており、工芸的価値と食文化の両面で優れている。(植田聰子)
- ・城の石垣を積み上げる時、潤滑補助剤として重用された昆布。無論、運搬には北前船が主流となつたので、寄港地や最終消費地には昆布を用いた食材や料理が多く残る。おぼろ昆布もその食材の一つで、独特の鉢を用いて薄く削ぎ取る技術は、職人技の極みと言える。また、吸い物・蕎麦・餡飴・おむすびなどへ加えると滋味が溢れ出し、重宝な副食品と言える。(金廣利三)

■金賞「ニューウェーブ賞」 大分県:地獄蒸し(R)プリン



◆受賞団体 岡本屋壳店

◆商品特性 別府の温泉蒸氣を使った地獄蒸しは、この地域独自の伝統的調理法。地域資源と食品文化の融合の象徴として作られ、地元産素材を用いた無添加のプリンは温泉由来のミネラル風味が特徴。プリンと観光の地獄蒸し体験と融合した地域観光との相乗効果も創出しています。

◆推薦のことば

- ・「地獄蒸し」とは、大分県別府市で有名な調理法で、温泉の噴氣(高温の蒸氣)を利用して食材を蒸し上げる伝統的な方法である。「地獄蒸し(R)プリン」は、この温泉蒸氣を使ってプリンを蒸し上げたスイーツ。高温の蒸氣で一気に加熱するため、なめらかで濃厚な食感に仕上がるのが特徴である。蒸氣で仕上げることで、香ばしいカラメルとの相性が際立つ。温泉地ならではの「地獄蒸し体験」と一緒に楽しめる点が観光の魅力になっている。「地獄蒸し(R)プリン」は単なるスイーツではなく、温泉文化と観光体験を結びつけた商品で、温泉蒸氣で蒸すという体験そのものが珍しく、観光客にとって「ここでしか食べられない特別感」がある。「地獄蒸し工房」では、野菜や海鮮を蒸す体験とセットで楽しめるため、プリンはその締めくくりの甘味として人気である。(日野 隆生)
- ・地獄蒸し(R)プリンは、別府の温泉蒸氣を活かす伝統調理「地獄蒸し」から生まれた特産スイーツである。1988年から職人が守り続ける手づくり製法は地域文化の象徴であり、苦味とミネラル感あるカラメルと濃厚で滑らかなプリンが生む上品な味わいは格別。明礬温泉の情景とともに“温泉地ならではの体験”を堪能できる。(館和彦)

<日本観光特産大賞>

◆審査方法:一般社団法人日本観光文化協会会員によりノミネートされた特産品に1位から15位までランキングを付け、ポイントによる加点方式で集計し、「観光特産大賞 グランプリ」、「金賞 優秀賞」、「金賞 ニューウェーブ賞」を決定してゆきます。

◆最終選考:審査員によるランキング付け・順位を数値化し集計

審査員(敬称略):日野 隆生(元東京富士大学教授) 館 和彦(愛知学泉大学教授)

笠谷 圭児(経済産業省認可セールスレップ・販路コーディネータ協同組合理事長)

金廣 利三(6次産業化プランナー) 槙 利

絵子(観光特産士マイスター・観光コーディネーター)

植田 聰子(観光PRコンサルタント、JTCC認定観光コーディネーター、日本観光士会認定講師)

小塩 稲之(日本観光文化協会会長)



【主 催】一般社団法人 日本観光文化協会

【運 営】全国観光特産士会 運営事務局

◆日本観光特産大賞のこれまでの実績は、下記よりご覧ください。

[<第1回:2019年>](#) [<第2回:2020年>](#) [<第3回:2021年>](#) [<第4回:2022年>](#)
[<第5回:2023年>](#) [<第6回:2024年>](#)

※ MMPグループ内の日本観光士会資格、商品開発士会資格、販路コーディネータ資格、セールスレップ、営業士、プロモーション資格のいずれかをお持ちの方も、投票することができます。

2025年プロモーション大賞_受賞決定



日本プロモーション大賞は、わが国における販売促進、広告宣伝、広報部門等の担当者の向上およびプロモーションに対する一層の理解促進を図ることを目的として年に一度開催しています。

日本販売促進協会は、2025年12月10日(水)『日本プロモーション大賞2025』を発表、グランプリは「『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略」(おいしかわ県PR協議会)に決定しました。

また、金賞_優秀賞を「西伊豆&

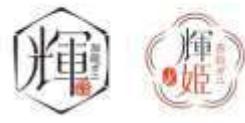
ANGLER」(一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン・西伊豆町)に決定しました。

【詳細はこちら】 <https://www.jsp.or.jp/award/index.html>

◆グランプリ

『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略／おいしかわ県PR協議会

「『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略」は、加能ガニ「輝(かがやき)」、香箱ガニ「輝姫(かがやきひめ)」、天然能登寒ぶり「煌(きらめき)」など、厳格な基準を満たす最高級ブランドを創出するとともに、毎年初セリに合わせてその日の一番を競い合う「蟹-1グランプリ」や「鯛-1グランプリ」を開催することで高額入札を生み、話題性と認知度を高めています。さらに、SNSやWebサイト「うおルカム！おいしかわ県.jp」を活用し、地元の飲食店やスーパーとも連携した情報発信を展開。能登半島地震後の復興を単なる特需で終わらせるのではなく、漁業と関連産業全体が持続的に潤うことを目指しています。



◆推薦のことば



- ・石川県産水産物のブランド戦略である。後発のブランドである点を跳ね返すため、蟹-1グランプリや鮭-1グランプリなどで話題性のあるイベントを仕掛け、発信性を高めた結果、初競価格の大幅向上と、認知度が上がり、一般魚の価格も向上して、地域の漁業や飲食店、観光事業者の事業に貢献している点を評価した。(大山充)
- ・北陸の地域資源を最大限に活用したマーケティング戦略を実施。地震からのリストアも考慮した評価。(岡田吉晴)

・トップブランドを創出し、それによる話題づくりによって、石川県全体の水産物の価値と知名度を高めている。イベントや SNS、マスコミなどを組み合わせたプロモーションは、秀逸で効果も出しており、グランプリにふさわしい。(尾中謙治)

◆金賞 優秀賞

「西伊豆&ANGLER」／一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン・西伊豆町



「西伊豆&ANGLER」は、革新的で新しい形の「釣り人向けの移住施策」です。漁師不足や漁獲量の減少への対策として、西伊豆町が一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと連携し、全国から釣り人(アングラー)を 招いて地域を活性化する取り組みです。「釣りを複業にできる町」を目標に、体験ツアー・意見交換会、移住支援、漁業権取得相談などを実施しています。

「西伊豆&ANGLER」というプロジェクトが立ち上がった背景には、西伊豆町が長年抱えてきた深刻な漁業の担い手不足と、過疎化・高齢化による地域活力の低下があります。西伊豆町には、もともと豊かな海と漁業資源がありましたが、近年は漁師の高齢化や後継者不足が進行し、漁獲量の減少が大きな問題となっていました。地方の小さな漁村ということもあり、地域に住む人口も減少し続け、町の活気や経済基盤の維持が難しくなっていました。

これらの課題に対し、単なる移住者募集ではなく、「釣り×複業」という切り口で地域外の多様な人材を呼び込み、交流と共創を通じて漁業や地域に新しい担い手と活力を生み出す仕組を作りました。

◆推薦のことば

・革新的で新しい形の「釣り人向けの移住施策」です。漁師不足や漁獲量の減少への対策として、西伊豆町が一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと連携し、全国から釣り人(アングラー)を招いて地域を活性化する取り組みです。「釣りを複業にできる町」を目標に、体験ツアーや意見交換会、移住支援、漁業権取得相談などを実施し、単なる移住者募集ではなく、「釣り×複業」という切り口で地域外の多様な人材を呼び込み、交流と共創を通じて漁業や地域に新しい担い手と活力を生み出す仕組を作りました。(日野隆生)

・切実な漁師不足を、釣り好きな人材掘り起しから移住へと繋げ、産業再活性へと繋げている点を評価。(吉留景子)

【日本販売促進協会 小塩会長からのコメント】

「日本プロモーション大賞」は当協会の「商・販・販促・マネジメント」という視点からの賞です。これは、販売促進、広告宣伝、広報部門等の担当者にとって必要不可欠な、イベント、プロモーションやマスメディア、SPメディアなどの知識です。

実際のところ、広告代理店や印刷会社の方に必要な知識はクライアント側に立った「商品開発」「販売」「販売促進」「マネジメント」の知識です。このことを広く認識していただくために、当協会員だけでなく、一般企業・団体の販売促進、広告宣伝、広報部門等や広告代理店、印刷会社、その他制作会社等が企画実施する販促活動(広報を含む活動)の事例を自薦・他薦問わず広く募集しました。

この審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰、
公開するものとして実施しています。



観光プランナー・観光士 通信教育プログラムのご案内

■通信教育プログラムのご案内 ～通信講座と試験で資格を取得する～

ご自身の生活スタイルに合わせて学ぶことができ、何度も DVD を見返して学びを深めることができます！

【通信講座のメリット】

ご自身の生活スタイルに合わせて学ぶことができ、何度も DVD を見返して学びを深めることができます！

流通・旅行など幅広い利式を習得、観光業界への就職を目指す！

観光プランナー・観光士は旅行・流通・フードビジネス、観光関連などの仕事に生かせる資格として注目を浴びています。この講座で、新しい観光メニューを開発・立案するための基礎知識、まちおこしや観光の活性化の実践に役立つ知識が学べ、就職や転職にも生かせます。終了後、日本観光士会の「観光プランナー」「観光士」取得が目指せます。

◇観光プランナー 通信講座

【実施要項及びお申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/kankoshiho/tushin.html>

【お申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/e3/form.cgi>

◇観光士 通信講座

【実施要項及びお申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/kankoshi/tushin.html>

【お申込みはこちら】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/e2/form.cgi>



2026年度上期全国一斉資格試験 2026年6月7日(日)開催予定

2025年下期全国一斉資格試験は、多くの方の受験を頂きました。

MMPグループでは、2026年度上期の「全国一斉資格試験」を6月7日(日)に実施を予定しています。「観光士」「観光特産」「商品開発」「営業販売」「販促広報」「マネジメントマーケティング」資格について、オンラインで実施する予定です！

試験はオンラインで行われ、ラジオボタン、チェックボックスのフォームで答えを選択する選択問題です。

日本観光士会では、「観光プランナー」、「観光士」、「観光コーディネーター」の3資格、全国観光特産士会では、「観光特産士4級」、「観光特産士3級」、「観光特産士2級」、「観光特産マイスター」の4資格を認定しています。



◆ 観光士会資格について

これからの観光は、ますます地域が一体となって取り組むべきものとなっています。そのため、「まちづくり、村おこし」から「街づくりの3ステップ」(地域ネットワークづくりと人材育成といった受け入れ態勢の充実化、地域資源の収集・発掘・整理、商品化システムの構築)、そしてエリア・アイデンティティ=地域ブランドを確立していくことのできる観光コーディネーターの役割が重要となります。観光学や観光マーケティング、観光ビジネス論などの知識習得のみに留まらない、よりプロデューサー的な視点が求められており、日本観光士会ではそういった内容が学べます。

日本観光士会では、「観光5資源体系」によって地域を分析・評価し、観光資源の発掘と場おこしを進めながら取り組める人材、変化した価値観やライフスタイル、観光DXやMaaSなどにも対応した新しい観光マーケティングを提案し、その地域ブランドを確立していく人材を育成しています。

また、キャリアアップやリスキリングに役立つカリキュラムを提供しています。

たとえば観光庁が指摘する課題に対しては、関係者の巻き込みが不十分などは、協会の観光資格では「まちづくりの3ステップ」などによる課題解決への提案をしているなど、実践的なアプローチを学んでいただくことで、観光庁が期待する日本版DMOの形成・確立を支援できる人材を目指すことができます。

取得された方は現在、観光協会など官民間わず多くのアドバイザー、大学講師などとして活躍しています。

観光に関する7資格以外の公認資格は、セールスレップ資格(3資格)、営業士資格(3資格)、商品開発資格(3資格)、プロモーション資格(3資格)、マネージメントコーディネーター資格(1資格)が準備されています。



観光関係を含めて、各資格の試験情報は以下 URL からご確認ください。

-
- ◆観光プランナー <https://www.jtcc.jp/kankoshiho/shiken.html>
 - ◆観光士 <https://www.jtcc.jp/kankoshi/>
 - ◆観光コーディネーター https://www.jtcc.jp/kanko_coordinator/shiken2.html
-
- ◆観光特産士 4 級 <https://jtmm.jp/tokusan4/>
 - ◆観光特産士 3 級 <https://jtmm.jp/tokusan3/>
 - ◆観光特産士 2 級 <https://jtmm.jp/tokusan2/>
 - ◆観光特産マイスター <https://jtmm.jp/tokusanmeister/>
-
- ◆販路コーディネータ3級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd3.html>
 - ◆販路コーディネータ 2 級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd2.html>
 - ◆販路コーディネータ 1 級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd1.html>
-
- ◆セールスレップ3級 https://www.jrep.jp/shiken/siken_3rd.html
 - ◆セールスレップ 2 級 https://www.jrep.jp/shiken/siken_2nd.html
 - ◆セールスレップ・マイスター https://www.jrep.jp/shiken/siken_1st.html
-
- ◆営業士初級 https://www.nrep.jp/shiken/shiken_shokyu.html
 - ◆営業士上級 https://www.nrep.jp/shiken/shiken_jyokyu.html
 - ◆営業士マスター https://www.nrep.jp/shiken/shiken_master.html
-
- ◆商品プランナー <https://www.jmcp.jp/course/planner/planner.shiken.html>
 - ◆商品開発士 https://www.jmcp.jp/course/product_plannning/
 - ◆商品開発コーディネーター https://www.jmcp.jp/product_coordinator/
-
- ◆プロモーション・プランナー <https://www.jsp.or.jp/shiken/beginner.html>
 - ◆プロモーション・プロデューサー <https://www.jsp.or.jp/shiken/intermediate.html>
 - ◆プロモーション・コーディネーター <https://www.jsp.or.jp/shiken/advanced.html>

認定講師登録制度のご案内

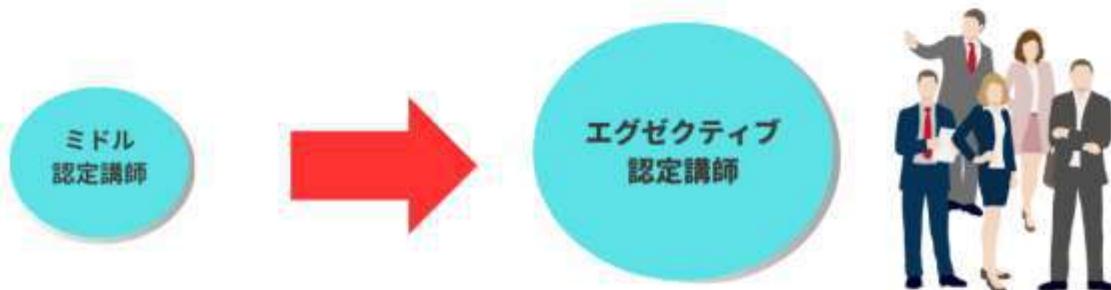
MMP 総研では毎年度、企業及び公的研修、資格認定研修プログラムや MMP® 等の認定講師を認定しています。協会からの各都道府県の派遣者講師、東京都中央会などの専門家派遣の方々などは、認定講師登録者が条件となっており、協会認定講師の方は各産業界で幅広く活躍されています。ご活躍されている認定講師の方をご紹介します。



- ◆ 日本販路コーディネータ協会 認定講師紹介 <https://hanro.jp/jmc/leader.html>
- ◆ 日本観光士会 認定講師紹介 <http://www.jtcc.jp/koushi/index.html>

▶ 認定講師登録制度

(一社)日本販路コーディネータ協会では、認定講師制度として「ミドル認定講師」、「エグゼクティブ認定講師」の2つのランクを設けています。自身のスキルを高め、実績を積み重ねることで、「ミドル認定講師」から「エグゼクティブ認定講師」へとステップアップできます。



ミドル認定講師は3級を、エグゼクティブ認定講師は3級と2級の両方を指導できます。

認定講師ランク	所持資格級	指導可能級	特典
ミドル 認定講師	1級レベル資格 MMCO	3級	—
エグゼクティブ認定講師	ミドル認定講師 MMP総研研究員	3級、2級	年間更新料無料、 協会講師推薦制度あり

■ミドル認定講師とエグゼクティブ認定講師の資格認定の登録制度

観光士会	https://www.jtcc.jp/event/koushi.html
場おこし認定講師	https://jtmm.jp/baokoshi-nintei/
販路コーディネート	https://www.hanro.jp/event/koushi.html
セールスレップ	https://www.jrep.jp/inforep/koushi.html
営業士会	https://www.nrep.jp/eigyoushi_info/koushi.html
商品開発	https://www.jmcp.jp/koushi/
販売促進	https://www.jsp.or.jp/event/koushi.html

■ミドル認定講師・登録制度の概要

◇ ミドル認定講師とは

企業、専門学校、大学を対象とした、販路コーディネータ 3 級レベルの研修を行うことができる認定講師です。MMCO 資格保有者であって、ミドル認定講師養成研修受講の講師であることを基本としています。

◇ 本格的な企業研修、学校教育

認定講師は事務局に届出の上、公式テキストを使用した企業内研修を開催できます。

本格的な企業研修、学校教育では、

- ① 3 級研修講師は MMCO 資格取得者で、ミドル認定講師が必須条件となっています。
- ② 研修内容は、相手先の要望に合わせることができます。また、実施時には協会の研修ツールを隨時、分野ごとに各研修先企業に合わせて編集しますが、その著作権等は協会に帰属しています。
- ③ テキストは、書籍、公式テキスト、事例問題、DVD などが協会から発行されているものに遵守します。

◇ 参加資格 MMCO 資格を取得している方

◇ 登録台帳および名簿の作成等

講師登録者の氏名等は、本協会備え付けの講師登録者台帳に記帳します。

※講師は 3 級レベル、2 級レベル、1 級レベル向けごとの登録制度としています
(2 級レベル講師登録者は 3 級レベルの資格研修を行うことができます)。

※各地域の JMC 認定研修センターにおいては、毎期ごとに 3 名以上の講師登録者の申請、在籍を必須としています。

※講師は年度ごとに更新が必要です。

◇ 認定講師の活動分野について

(一社)日本販路コーディネータ協会のカリキュラムに沿った講師活動が認められる。

民間企業向けカリキュラム研修講師など

・認定登録者向け研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 MM 戦略会議研修及び研修
カリキュラム講師等

- ・民間企業研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 3級、2級、1級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等
- ・民間企業合同開催研修:(一社)日本販路コーディネータ協会 3級、2級、1級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等

◇ 公的機関等の研修講師など

公的研修:国、地方自治体、公共団体、外郭団体及びそれらに準じる組織、団体向け(一社)日本販路コーディネータ協会研修カリキュラム講師など

◇ 学校教育授業教育など

(一社)日本販路コーディネータ協会カリキュラムでの授業教育
高校・専門学校学校向け:単科教科 …ビジネス基礎教育向け
大学・専門学校等教科向け:販路コーディネート等… 選択科目向け

◇ 認定研修センターの開設について

研修生の教育にあたっては、認定教育機関は各都道府県ごとの(複数センター開設可)研修センターとし、センターにおいては販路コーディネータについての広く深い理解と専門力を養い、その知識を高めると共に、普及啓蒙活動に努めることをその研修方針としています。
また、(一社)日本販路コーディネータ協会においては、必要な専門的知識、技能を修得させると共に、技能者として必要な本分野におけるビジネス知識を高めることをその研修方針としています。

認定教育機関の開設にあたっては、(一社)日本販路コーディネータ協会に申請書と認定教育センター連携計画書をご提出いただき、認定教育センター指定のご契約をさせていただきます。
認定研修の開講については、事前に(一社)日本販路コーディネータ協会が審査を行います。

■ (一社)日本販路コーディネータ協会認定研修センター申請について

- (1)認定研修センター登録申請書の提出と審査
- (2)認定研修センタ一年間計画書提出と契約書締結
- (3)教育機関講師登録申請と手続きについてのご案内送付
- (4)講師登録の届出

本制度に関するお問い合わせは、「MMP®総研」までお願いいたします。

【お問い合わせ】 <https://www.jmmp.jp/contact/index.html>

観光士・観光特産士・販路コーディネータ資格取得を目指している方は必見

WW型 他資格取得編入制度・ダブルライセンス割引

日本観光士会・全国観光特産士会・販路コーディネータ協会複数資格取得を目指している方に吉報です。

【概要】

MMP グループでは、学習を支援する優遇制度が設けられており、各資格の最上位級の1級及びコーディネータは、他の資格の2級から受験、受講できます。

自分がやりたい分野の資格を取得し、次に挑戦できる資格を見つけることができるのが MMP グループです。

WW 型 他資格取得編入制度を利用すると、①初級レベル試験免除、②2 資格目取得以降の初回登録料免除といったダブルライセンス割引が適用されるメリットがございます。

＜ダブルライセンス制度の詳細＞ <https://www.jtcc.jp/seido.html>



【① 初級レベル試験免除について】

例えば日本観光士会の観光コーディネーターが、販路コーディネータの資格を取りたいと希望した場合、販路コーディネータ3級の資格試験が免除され、2級から試験を受験、研修を受講することができます。

【② 初回登録料免除、年会費(資格更新料)の取り扱い】

通常ですと資格取得後に初回登録料が発生しますが、WW 資格優遇制度では 2 資格目取得以降の初回登録料が免除されます。

※ただし、年会費(13,200 円税込/1 年毎)のみお支払いいただきます。

なお、コーディネーターレベルの資格を取得されましたら、2 資格目以降の年会費も免除され、最初に取得した資格の年会費(1 年毎)のみ発生します。

【利用方法】

本制度を利用する方はまず、いずれかの資格の 1 級レベルの試験(観光コーディネーター、観光特産士マイスター級、商品開発コーディネーター、販路コーディネータ 1 級、営業士マイスター、セールスマスター、プロモーションコーディネーター)に合格し、2 つ目以降に受けたい資格の申込フォームの通信欄に、最上位の資格名と認定番号を記載してください。また、事務局お問い合わせフォームより、申し込み希望の旨をご連絡ください。

観光プランナーを団体で受験を希望される 学校・企業・団体様へ

会員の方で学校関係、大学や専門学校で、団体で受験したい先生や生徒さんは、下記にある受験の詳細からお問い合わせください。企業、団体などでの受験も同様とさせていただいております。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html

- 学校、学習塾、企業などの団体で原則5名以上集まれば、団体受験として申込みが可能です。

- ・一斉試験(団体)…10%割引
- ・研修小試験(団体)…20%割引

- 受験日当日は、それぞれの団体で用意する会場(認定会場)で行っていただきます。

- 一斉試験では、当協会が開催している6月、11月の日時以外でも指定が可能となります。ご相談ください。

- ※ 初級のみ日時指定可となります。
- ※ 団体受験では、試験監督を1名置いていただく必要があります。
- ※ 申込責任者に団体の取りまとめをお願いいたします。
- ※ 申込責任者は受験できません。



- 団体申込みには、下記「団体控除(学生の場合の割引参照)」が適用されます。旅行代理店様、交通機関様、観光サービス業者様、流通・フード関連企業様、その他関連企業様など団体単位でのお申込みも割引適用(10%団体割引)しております。

- プランナー研修・試験合格者は、観光士研修・試験に進むことができます。団体受験・受講手続き方法企業、団体等で受験・研修受講される場合は、上記の内容をご確認いただき、お問い合わせフォームからご申請ください。

- 観光士研修・試験に進む方は資格登録が必須となります。

- 特典_5名以上の場合の団体受験、お申し込みについての割引適用

【受験手続】

学校、企業、団体等で受験・研修される場合は、下記の内容をご確認いただき、申込責任者の方が下記のお問い合わせフォームよりご申請ください。

【お申込みフォーム】 <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>

■ 観光プランナー団体受験の流れ

1、受験者の募集

団体受験が決定したおり、協会にて、団体内募集用のパンフレットをご用意しておりますので、ご利用ください。

2、受験者の集約、検定料の集金

各級・科目ごとに、申込人数を確定してください。各申込者から、お申し込みの前に検定料を集めてください。テキストにつきましては、申込書にご記載の上、一括指定銀行口座までご入金ください。
ご入金確認次第、テキストを一括送付させていただきます。

3、協会より申込責任者宛に申込受理のメールを送信

お申し込み時に、Eメールをご記入いただいた団体には、申込受理の旨をEメールにてお知らせいたします。

4、お振り込み

申込期限内に、協会の指定銀行口座まで検定料をご入金ください。

5、協会より申込責任者宛に試験問題等をURL送付または郵送(準会場設営団体に対してのみ)

＜オンライン受験実施の場合＞ 検定日の4～5日前に、試験問題のURLをお送りいたします。

＜紙の試験の場合＞ 検定日の4～5日前に、準会場用の試験問題、解答用紙等検定資材をお送りいたします。不備がないか、中身をご確認ください。検定日の3日前になっても資材が届かない場合は、必ず協会までご連絡ください。

6、試験

公開会場受験者は、協会が指定した公開会場にて、他の一般受験者と一緒に受験します。

準会場受験者は、各団体の申込責任者が定めた準会場にて、申込責任者の監督のもとで受験します。

申込責任者は、厳正公平に試験を実施してください。

7、結果通知

申込責任者宛に、合否にかかわらず受験者全員分の結果通知を郵送します。

【詳細はこちら】 https://www.jtcc.jp/kankoshi/kankoushi_dantai.html

【お問い合わせ先】 日本観光士会 一般社団法人日本観光文化協会内アクセス

お問い合わせフォーム <https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>



モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集!



通勤通学時間を利用したスマホ視聴で認定資格講座が1ヶ月で学べる「モーニング・イブニング講座」が、いよいよ今期から開催されました。

MMP 総研は、社会人教育の基礎講座として「商品開発」「販路コーディネータ」「販売促進・広報」「観光コーディネーター」など 7 つの講座をモーニング・イブニング講座として開講しています。

MMP 総研の通学通勤講座「モーニング・イブニング講座」は1か月で学べ、朝と夕方の通勤電車の中でスマホを使って講義を視聴でき、しかも小試験も通勤中に手軽にできるという、正に「OMO (Online Merges with Offline)」デジタル(オンライン)を前提として、リアルの世界(オフライン)もデジタルの中に包含して捉えようという考え方を取り入れた画期的な講座です。

法人・団体において、人材育成のオンライン化、リスキリングといった需要に対応しており、販売力、システム力、コンテンツ力、組織力を高めるお手伝いをしています。もちろん個人の学習にも対応しています。

「モーニング・イブニング講座」とは、「モーニング講座コース: 平日 AM6 時～9時迄」「イブニング講座コース 平日 AM11 時～PM9 時迄」の時間帯を設定し、資格別・コース別に講師が担当する講座です。資格の勉強を始めたいけど、忙しくてその一歩が踏み出せない。

そんな悩みを解決するために生まれたのが、忙しい人専用の学習法「スタディング」です。これは「いつでも、どこでも、学べる」講座です。

そのような「モーニング・イブニング講座」の講師をやってみませんか？ MMP グループの資格を持っている方なら、だれでも応募できます。新しいチャレンジにジャスト・ライ・イット…。

【詳細はこちらから】 <https://www.jmmp.jp/study/index.html>

【研修講座のご案内】 <https://jmmp.jp/study/hanro/shikaku.html>

【モーイブ講座の講師を希望の方はこちらからの問い合わせから】

<https://www.jmmp.jp/cgi-bin/institute/form.cgi>



MMP 総研 研究員募集 ～MMCOに挑戦する方へ～

最上位資格者は、MMCO(マネジメントマーケティング・コーディネーター)を受験することができます。さらに、MMCO 資格者は、他の条件(下記)を取得すると研究員に応募できます。



MMP®総研は、「一般社団法人 JMC 日本販路コーディネータ協会」及び「一般社団法人 JTCC 日本観光文化協会」を核に、調査・研究活動等に取り組んでいます。当研究所の名称でもある MMP® は、マネジメントマーケティング・プログラムの略称であり、当グループのコンセプトである「モノづくり、コトづくり、場おこし」=「人づくり」や、MM(マネジメントマーケティング)の考え方をベースにした MMC、MMP®の普及を目指している。学生やビジネスパーソンの成長を広く支援することこそが、MMP グループに与えられた大きな取り組みのテーマであると考えています。

【詳細はこちから】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

【事業ミッション】「コトづくり、モノづくり、バおこし、人づくり」

「コトづくり、モノづくり、バおこし」における継続的な人材育成連携ネットワークを目指す。MMP 総研から各学校への授業講師派遣、各都道府県への講師派遣も行っている。

【MMP®総研の役割】

- (1) 人材育成の在り方の調査・研究と必要な教材の開発
- (2) 人財育成講座の研究、開発、実施
- (3) 専門家集団としての資質の向上
- (4) MMP®研究の募集と評価
- (5) コンサルティング技法の研究・開発
- (6) 研究・開発の登録及び内外への啓蒙活動
- (7) マネジメントマーケティングに関する情報の収集及び分析
- (8) 中小企業経営、マーケティング、販路開拓、商品開発支援活動
- (9) マネジメントマーケティング・コーディネーター(MMCO)の研究員募集と審査登録
- (10) その他、上記に関連する必要な諸活動



【一般研究員募集】申込みは 2024 年 6 月末を締切とし、8 月中の審査

【一般研究員申請の条件と申請方法】以下 3 資格の全取得者

- ①マネジメントマーケティング・コーディネーター
- ②ミドル認定講師
- ③MMP®リーダー取得者(統括リーダーまでは必要なし)

【登録詳細】 <https://www.jmmp.jp/research/index.html>

紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション あなたの本を一冊創りませんか

あなたの本を一冊創りませんか

～自分流出版！自分の生き方本を有名書店に並べよう～

MMP コミュニケーションは、あなたの「本づくり」をお手伝いします。ジャンルは「商品開発」「営業・販売」「販売促進」「観光」「観光特産」「マネージメント」「マーケティング」分野に限ります。

【出版規定】

- ・A5版、約160頁(本文モノクロ)
- ・表紙デザイン(カラー)は協会規定のもの
- ・完全原稿(pdfデータ)で書籍の規定の形で入稿できる方
- ・印刷用pdfデータにご対応いただける方



制作する本は、大手書店ならびにオンライン書店などに流通させるISBNコード(図書バーコード)を正式に割り振り、著名なサイトで販売も可能です。たとえば、MMP コミュニケーションの書籍が大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」で紹介されています。お気軽にお問い合わせください。

【受付締切】 2026年6月30日(水)

【詳細】 <https://www.jmmp.jp/mmpc/publication.html>

【お申込み】 <https://www.jmmp.jp/cgi-bin/makebooks/form.cgi>

【出版物紹介】 <https://www.jmmp.jp/mmpc/books.html>

※ MMPC 書籍は、大日本印刷運営のオンラインショップ「honto」でも紹介されています。

DVD販売のご紹介

【ご案内はこちら】 <https://www.jmmp.jp/mmpc/dvd.html>

【ご案内はこちら】 <https://www.jmmp.jp/mmpc/Test-video-contents.html>



JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中!

セールスレップ・販路コーディネータ協同組合は、販路コーディネータ・セールスレップ資格保有者に限らず、観光資格保有の方(観光士以上/観光特産士2級以上)も加入が可能な組合で、生涯学習できる場、交流できる場が広がる。

JRM プレミア組合員(個人組合員)になると、下記のセミナー・研修、講習会に無料で参加できる。

- ・MM 研究会:年 10 回程度、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・MMP リーダー研修:年 2 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・スキルアップ研修:1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・認定講師更新料:ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円(税込)

専門家との出会いの場があり、他業界との情報共有も可能である。

■ JRM プレミア組合員(個人組合員)

法人格を持たない(青色申告事業者を除く)個人の方を対象とした制度です(ただし、個人組合員は、組合総会には出席できません)。申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て登録となります。地域の制限はありません。

※入会金:20,000 円、年会費:12,000 円(一括支払い)

組合の年会費を払えば、協会主催の各種セミナー・講習会が無料になるため、多く参加すればするほどお得になるといったメリットもある。加入を検討する中級レベル以上の資格保有者が増えている。



【詳細・お申込】 <http://www.e-rep.jp/rep-kiyaku.html>

MMPグループ・ホームページ & 資格研修スケジュール

ご案内ホームページ	
観光プランナー・観光士・観光コーディネーター資格	https://www.jtcc.jp
観光特産士会・観光文化協会	https://www.jtmm.jp
販路コーディネータ・MMCO資格	https://www.hanro.jp
営業士資格	https://www.nrep.jp
商品プランナー・商品開発士・商品開発コーディネーター資格	https://www.jmcp.jp
セールスレップ・販路コーディネータ協同組合	http://www.e-rep.jp
セールスレップ資格	http://www.jrep.jp
プロモーション資格	https://www.jsp.or.jp
2026年上期全国一斉試験	
2026年6月7日(日)	
日本観光士会資格認定研修プログラム ※最新はホームページをご覧ください	
<u>観光プランナー研修</u>	2026年1月18日(日) 研修+オンライン小試験 2026年3月21日(土) 研修+オンライン小試験
<u>観光士研修</u>	2026年4月5日(日) 研修+オンライン小試験 2026年7月4日(土) 研修+オンライン小試験
<u>観光コーディネーター研修</u>	2026年9月13日(土) 研修+オンライン小試験 2027年1月23日(土) 研修+オンライン小試験
日本販路コーディネータ協会資格認定研修プログラム	
<u>販路コーディネータ3級研修</u>	2026年1月31日(土) 動画研修+試験 2026年3月22日(日) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ2級研修</u>	2026年4月11日(土) 動画研修+試験 2026年7月12日(日) 動画研修+試験
<u>販路コーディネータ1級研修</u>	2026年9月12日(土) 動画研修+試験

日本商品開発士会資格認定研修プログラム	
<u>商品プランナー研修</u>	2026年1月10日(土) 動画研修+試験 2026年3月15日(日) 動画研修+試験
<u>商品開発士研修</u>	2026年4月12日(日) 動画研修+試験 2026年7月11日(土) 動画研修+試験
<u>商品開発コーディネーター研修</u>	2026年9月12日(土) 動画研修+試験
日本セールスレップ協会認定研修プログラム	
<u>セールスレップ3級研修</u>	2026年1月11日(日) 動画研修+試験 2026年3月14日(土) 動画研修+試験
<u>セールスレップ2級研修</u>	2026年4月4日(土) 動画研修+試験 2026年7月5日(日) 動画研修+試験
<u>セールスレップマイスター研修</u>	2026年9月12日(土) 動画研修+試験 2027年1月24日(日) 動画研修+試験
日本販売促進協会資格認定研修プログラム	
<u>プロモーションプランナー研修</u>	2026年1月24日(土)、1月25日(日) 2日間 動画研修+試験 2026年3月21日(土)、3月22日(日) 2日間 動画研修+試験
<u>プロモーションプロデューサー研修</u>	2026年4月11日(土) 動画研修+試験 2026年7月18日(土) 動画研修+試験
<u>プロモーションコーディネーター研修</u>	2026年9月13日(日) 動画研修+試験 2027年1月23日(土) 動画研修+試験

観光エキスパート 2026年2月号

2026年2月15日発行

発行 (一社) 日本観光文化協会 <https://www.jtmm.jp/> <https://www.jtcc.jp/>

協力 セールスレップ・販路コーディネータ協同組合 (一社) 日本販路コーディネータ協会

お問い合わせ先 <https://jtmm.jp/contact/><https://www.jtcc.jp/cgi-bin/mail/form.cgi>

※掲載されているテキスト、画像等の無断転訳載を禁じます。